

会長テーマ：クラブの主役は、会員一人一人です。

会長 荒井信宏
幹事 中村直弘
会報 佐藤陽二

国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループ越谷南ロータリークラブ
〒343-0842 越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル 2F Email : info@koshigayasouth-rc.jp
TEL : 048-987-5761 FAX : 048-987-5762 例会日 : 毎週木曜日 12 : 30~13 : 30



2019年 1月 17日 第2181回例会 会報

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【ゲストビジター紹介】

次年度ガバナー補佐 新井 進様
財団学友会長 服部純一様

【会長あいさつ】

荒井信宏会長



皆様、こんにちは。こここのところ寒さが一段と厳しくなって来ましたね。それとともにインフルエンザも世間では流行ってきたようです。私もこの前の3連休に胃腸の風邪にかかってしまって殆ど布団の中で過ごしました。とても辛く、とても退屈な時間でした。

改めて健康であることの有難味を感じた次第です。

さて、本日は越谷ロータリークラブから第8グループ次年度ガバナー補佐の新井進様にお越し頂きました。後ほど、ご挨拶をよろしくお願い致します。

また、昨年11月に続いてRI第2770地区財団学友会会長の服部純一様にお越し頂きました。我クラブでは11月2日から9日にかけて地区補助金(大口枠)を利用したモンゴル障害児童支援事業を実施しますが、それに際して当該事業の理解を深めるために卓話を頂くことになっています。服部先生、どうぞよろしくお願い致します。

本日はIMの役割について池田IM実行委員長からお話を頂くことになっておりますが、IMの語源について少し触れて見たいと思います。

IMと言うのは、Intercity Meetingの略語であり、昔はICGFと言っていたようです。これはInter-City General Forumの略語であって、都市連合フォーラムと訳されていまして。その後、Inter-Cityは一つの言葉だということで、ICGFのCを省略してIGFとなり、それから現在のIMになりました。

従って、IMの実体はフォーラムであるということです。

最後に再びのお願いになりますが、1月26日は第8グループのIM・合同新年会がギャザーホールにて開催されます。越谷南クラブは今回、大熊ガバナー補佐のもとホストクラブでもありますので、皆様の参加、よろしく願いいたします。

【幹事報告】

中村直弘幹事



- 年が明けて下期になりましたので、会費のお支払をお願い致します。また、以前ご案内差し上げましたが、スマイルの一括払いが理事会で承認されておりますので、ご希望の方はご連絡ください。
- 地区より第31回インターアクト協議会及び韓国訪日団歓迎会の案内が届きました。2月10日(日)、伊奈町にある埼玉県民活動総合センターにて、インターアクト協議会が10:00-12:00、昼食交流会が11:35-12:50、韓国訪日団歓迎会が13:00-16:00に行われます。参加希望の方は1月21日(月)までにご連絡ください。

【委員会報告】

青少年奉仕委員会 仁多見委員長



本日例会終了後に委員会を開きますので委員の皆様宜しくお願い申し上げます

プログラム委員会 石川委員長



例会終了後プログラム委員会を開催しますので宜しくお願いします。

【お客様ご挨拶】

次年度ガバナー補佐 新井 進様



皆様こんにちは

越谷ロータリークラブの新井と申します。

来週のIMIにて正式に現ガバナー補佐の大熊様より正式に紹介があると思いますので、勇み足かなとは思いますが、実は今日いっちゃってる服部先生と深井さんのところでの餅つき大会で久しぶりにお会いしまして、卓話をすると同いまして是非聞きたいなと思って馳せ参じたわけでございます。

越谷南ロータリークラブの皆様には日頃からお世話になっております。

服部先生が西方小学校校長先生をなさっております。私も35年くらい前息子が通ってましてPTA会長を10年くらいさせて頂いてまして、今度は孫が入学するようになりまして、ちょうどそのころ服部先生が着任されてきたわけなんです。その時に、「新井さん大丈夫ですよ。私はその道専門だから何も心配することないよ」と強い励ましのお言葉を頂いてお陰様でその後無事に成長し今大相模中学校に通ってます。

実はすごいおどろいたことがあったんです。

「僕はロータリー財団奨学生なんだよ。」その話を最初に伺った時にロータリーという縁がこういうところにあるんだと。しかも「財団奨学生をうけて自分が今あるんだと。発達障害に対して勉強にアメリカへ行かせてもらったんだよ。」そういう事でロータリーに関しては特別な感情をお持ちでいらっしやるとお話を伺ってロータリーは人と人のつながりが深いなと実感しました。

【3分間スピーチ】ロータリー情報 中島頼光委員長



職業奉仕に関する声明 (1987年RI理事会、採択)

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものである。

- 1) あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべてへの厚生な取り扱いも含まれる；
- 2) 自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること；
- 3) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、たびたび職業奉仕を実践して見せることによって、また、クラブ自身の行動に職業奉仕を生かすことによって、模範となる実例を示すことによって、さらに、クラブ会員が事故の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を實踐、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律し、併せてクラブ開発したプロジェクトに応えることである。

職業奉仕採点表をお配り致しました。帰ってからやってみてください。

【IMの役割について】IM実行 池田玄一委員長



皆様こんにちは

いよいよ来週はIMとなります。皆様に情報が伝わっていないかと思しますので、情報を共有したいと思います。

大熊水町池田で大体決めていますが、変更になることもあると思います。

役割分担の資料をご覧ください。

皆さんに共有して頂きたいのでお伝えします。

10:30集合で準備し、12時に昼食取ります。

13時受付でお出迎えの予定です。当日宜しくお願ひします

【モンゴル障害児童支援事業 概要説明】 中村幹事



概要説明させていただきます。

プロジェクトの体制は服部先生に主体となって頂いております。

国際奉仕には来日する方の手配、接待

発案者の浅水さんと私が海外との調整をしております。

予算は地区から110万円。クラブから20万円

日には2/3(日)~2/9(土) モンゴルから6名来日

4日~7日がプロジェクトの実施日

4日埼玉県関連の施設訪問

4-6日越谷市内の施設訪問

7日県立越谷特別養護学校訪問

8日金曜日は観光の予定です。

【卓話】第2770地区財団学友委員長 服部純一様
モンゴル障害児童教育視察団と越谷の障害児教育について



この地区の財団学友委員会会長の服部です。

1月1日に財団奨学生のお話はさせて頂きましたので、本日はモンゴル障害児童教育視察団と越谷の障害児童教育にあるいは埼玉の障害児童教育について特化してお話させていただきます。

モンゴルというと遊牧民のイメージが強いかと思われていらっしゃると思いますが、うんと地方に行けばそうかもしれませんがウランバートルだとか今回来るエルデネットは鉱山がある工業都市です。都市部は普通の都市と変わりません

私は障害児教育をさせて頂き、桜井南小、西方小で校長をしました。障害児教育のレベルがその国の社会のレベルに比例すると思っております。

ということで、モンゴルがロータリーの力を借りながら障害児教育を充実させようとしているのは、モンゴルの一般の教育から更に障害児教育へと成熟してきたところなんだと思います。

ロータリー財団のグローバル補助金にも識字率を挙げるという項目があります。日本で識字率は非常に高い。江戸時代の都市部は90%の方が字が読める。農村部でも30~40%の識字率です

明治5年学校法が出来、義務教育が始まりました。廃人学校の記述が学制にありましたが始まりましたが、この言葉はキツイですよ。でもこの当時これにかわる言葉がありませんでした。

明治11年京都に盲ろう学校は創設され認識が深まって行きました。そして長野県松本市の開智学校では明治22年から特別支援が始まっています。しかし、その後なかなか日本の障害児教育進まず昭和52年越谷養護学校が出来ました。54年に障害児教育がようやくはじまったと言うわけです。

障害児とはどういうのか？

例えば私は視力が0.2と0.02です。メガネを掛ければ車の運転が出来ます。しかし飛行機・船の操縦免許は裸眼0.8以上でないと受けられない障害があります。でも上手くメガネをかけることで障害なく生活できます

さかなくんはギョギョーと時々キーの高い声を発する発達障害です。でも魚に関する特化した知識によって東京海洋大学の客員教授になり名誉博士を取りました。

パラリンピックのアスリートもそうですね。車椅子を使う。義足を使う。そしてアスリートが戦える基準を設ける。これ

が支援なんですね。つまり障害といっても色々ですから、一部不可能な部分をカバーする事、その障害をうまく補えばいいわけです。

これから来るモンゴルの方々に埼玉県立小児医療センターと埼玉県発達障害総合支援センターを見学して頂きます。

埼玉県立小児医療センターは岩槻にあった小児医療センターが新都心に移りました。ここは最後の砦みたいなもので。越谷市内で例えば超未熟児であったり、心臓に問題があり差し障る場合、町の産婦人科から越谷市立病院・獨協医科大学病院へ行きます。そこでもっと高度な医療が必要な場合そこから小児医療センターを使う。といったシステムができていますね。

小児医療センターの南側に**発達障害総合支援センター**があります。発達障害総合支援センターは、発達障害の支援ができる人材の育成や、親への支援、地域の支援機関への助言、県民の方からの相談に応じるなど、発達障害のある子供や保護者の方が、日常生活で必要な支援が受けられる地域づくりを目指しています。

モンゴルにもこういったセンターを設ける必要があると思いますので見学して頂きます。

翌日は越谷の施設へ行っていただきます。

まず**越谷市児童発達支援センター**です。ここは乳児検診で気を付けたほうがいいかなーという方を診断しただけでなくここで発達に応じた相談や日常生活の企保運の動作や集団生活の適応訓練などの療育をしますところですよ。

特別支援学校・学級が小中学校にあり、高等部は越谷西特別養護学校があります。

午後に行く**障害者就労訓練施設しらこぼと**では、就労をめざし社会へ出て行く訓練をするわけです。

翌日6日は**越谷市教育センター**へ行きます。地域に根差した教育を推進し、幼児教育、学校教育、青少年教育等、本市教育の充実発展のために大きく貢献することをねらいとしています

今回モンゴルの視察団の方と各施設をまわります。

最後にロータリーの皆様にお話しさせて頂きたいことは特別支援学校高等部を卒業して社会に出て行く子たちを障害があっても上手にメガネをかけるように、上手に車椅子を使うように、あるいは働き方を工夫するなどして、補えばできるように訓練してしますので、是非この機会に障害のある人の受け入れと一緒に研究し検討し考えていただけたらと思います。

本日は有難うございました。

【スマイル報告】



スマイル 23 件 26,000 円
累計 1,096,500 円

新井進様、服部純一様
ありがとうございます。

小林、小林(光)、池田、濱野、石川、深井、岩淵、石塚、瀬尾、中島、小池、大熊、荒井、小山、水町、仁多見、吉田、中村、長澤、岡田、遠山
ありがとうございます。

【出席報告】



例 会 日	平成31年1月 17日		
会 員 数	47名	出席	23名
出席免除者	2名	欠席	22名
出席率	51.11%	前々回MU	7名
MU修正率	89.6%	会報担当：	

【会場運営委員会より】

本日はカフェラホヌさんのお弁当です。



毎週色々なお店をお願いしております。
ご意見ご希望がございましたら会場運営委員会までお願いいたします。参考にさせていただきます。